

11.29(土) 経済学部スト突(理)【中集(半)会室】に全ての諸君は結集せよ。—— 田交貫徹 ——

もはや幻想は粉砕された

怒りをもって決起せよ!

全市大の学友諸君、とりわけ経済学部の学友諸君、先日ヤツと田交が行われた。導入以来、いざそれ以前から大学改革の動きを待つ全ての者が要求していた全学大衆田交は大学協議会の一方的拒絶にあり長く実現されなかった。しかし我々の粘り強い田交要求の運動の前に度々の予備折衝を通じているような条件をつけてきた大。学当局もヤツと我々の前に姿をあらわさざるを得なかった。彼等の取った対応は論。理抜き居直り、責任回避、そしてその一つ一つはまさに国家権力と一体として、この。管理者的発想以外の何物でもなかった。我々はここにふん出した問題(以後)を。管理者的発想以外の何物でもなかった。我々はここにふん出した問題(以後)を。管理者的発想以外の何物でもなかった。我々はここにふん出した問題(以後)を。

一物理三回生グニス討論に対する田交問題について——楠木が犯罪性は明らかだ。楠木「私もっとしやべらして下さいよ」(田交には証す資格はない。やめることだ。学長「そんなことがあったとは正式に知らぬ。学生のことか楠木さんのいうことかどっちが正しいかよく調べないとわからない。)

二一月十日ロックスアウトの日には法学部の一部の学生集団にだけ工階段教室に入れ、集会を聞かせたことについて。本田「ずつと前からその要望があったから。」「(学生の主体となるべき大衆の大学を当局の勝手な意志でロックスアウト)その夜中に一部の学生集団だけを工階段に入れ集会を聞かせる。——ここに、校方・当局・職員一線となつた現在の閉鎖的支配構造の姿が顕著に表われている。

三医学部厚生学院生に対する給食禁止(人権無視、多数の教授による大衆のセーブ)思想弾圧、全学生教職員に対する名札の強制(多数の医学部教授の犯罪性について)にもかかわらず医学部学生会のメンバーは一人もこの田交に参っていない。そして

学長「そんなことがあるとは知らない。」「学長はそんなサイなことは解らなくて。」「数々の悪いつきわまる犯罪的な行為に対し、怒りをもってストライキで次回田交に結集し、五項目要求を貫徹せよ。」「

学友諸君、全情况が明るみに出た。まさに同交において、果敢された導入以来の当局の態度は日大以上のワッパ三体制である。物直への導入は、この導入の禁止事項に基いて行われた。このよ

うな恐るべき事実、これこそまさに現大衆立法の究極化以外の何物でもない。权力とのゆるぎを深め、私腹は当座と区別がつかないから困るなどという学長、協議会、御用自治会を待望する大衆当局、これが現在の市大の姿なのである。この田交をさせれば当局に対し、力の互角自専求をつきつけた。我々はこの五項目要求の貫徹こそが改革のホトであると思え、組織に御用開始して呼ぶけることに、再度経済スト突を開始する。全ての学友諸君は結集せよ。

- 五項目要求
- 一物直の及討論への導入を自己批判し楠木理事(野村)を解任せよ。
 - 一山谷医学部長(山本、塩田、山本、田村)以上五名を退任せよ。
 - 一田交を自己批判し阿佐野、杉本に於ける常務体制を直ちに解除せよ。
 - 一〇八、〇七校舎事項を直ちに徹底せよ。
 - 一医学部における名札を即断徹底せよ。
 - 一厚生学院生に対し給食を即時再開し一切の処分を中止せよ。

経済(理)